

市指定史跡

加賀塚



栄町を流れる細かい用水のそばにある 3m 四方、高さ 50cm の塚で、戦国時代にこの地を治めていた竹間加賀入道の墓といわれている。竹間加賀入道は、滝山城主北条氏照に仕え、鉢形城の守備にもあたった武将で、天正 14 年（1586 年）、氏照が日野の竹木伐採を禁じた文書の中にその名が見える。豊臣秀吉が関東に兵を進め、北条氏と交戦状態に入った天正 18 年（1590 年）に鉢形城から帰り、2 月 8 日、この地で切腹した。八王子城が豊臣勢の攻撃で落城する 4 ヶ月前にことである。現在塚には、昭和 15 年（1940 年）に加賀入道の子孫がたてた墓碑と、古くからある自然石の 2 基が立てられている。

（『日野市の文化財』 1994 年 3 月 31 日発行より）

昭和 36 年 10 月 1 日指定

※無断転載・使用及び別の媒体に収録して再配布する等禁止。